

Go to Next Stage

期末テストアップの対策をのせます。できることは参考にして下さい。実行するかしないかは君次第です。技能教科も忘れずに。

期末アップ大作戦

国語 読む、書く、写す 予習のしかた

今勉強している教科書の文章を読むことです。分からないことははっきりさせて、授業では質問します。また、文章を読むときは声を出して読みましょう。声を出すと理解が早くなることと、分からないことがどれか分かります。忘れてならないことはマーカーで線を引いて進めてください。

宿題をするのも予習になります。分からなくてもいいからやってみることで。同じ分からないことでも、やって分からないこととやらなくて分からないこととは全く違うのです。5分でも10分でもやってみることで。

復習のしかた

今日勉強したところを声を出して読みましょう。そして、ノートの整理したところを読みます。そして、今日のところを自分でまとめて書いておきます。

今日勉強したところの漢字を練習することもできます。

つまり、復習のしかたにはいろんなことがあります。読む、書く、写すなどがそれですが、全部できない人は一つでも毎日実行しましょう。

社会 ビデオかコピーか 予習のしかた

教科書を何度も読んで、内容を理解すること。最低2回は読みましょう。

読んだら、次にノートに書くことです。何を

書くのかというと、教科書の中にある重要語(太字)や文です。つまり、太い文字で書かれた語句をノートに写し、その語句について分かったことを書き込んでおきましょう。

復習のしかた

もう一冊のノートを準備します。そして、今日の授業のことを思い出しながら、思い出したことを全部書いていきます。つまり、今日の授業のビデオをとるのです。

思い出せないことは、授業のノートを見てもかまいません。これをビデオ学習といいます。この勉強はその日のうちにしなくてはなりません。なぜなら、人間の脳は、一度眠ってしまうと半分は忘れてしまうからです。

このビデオ学習をできない人やできないときは、その日の勉強した教科書の内容を写します。もちろん、表や図なども全部写本します。これをコピー学習といいます。

数学 分かるとできる 予習のしかた

教科書に一通り目を通して説明を読んだり、例題をしたりする程度でいいです。解答のある参考書よりも、間違った答えでも自分でやった方が翌日の授業では分かりやすくなります。

復習のしかた

今日習った教科書の問題を練習します。これはもう分かっているからいいや、などと言わないでやりましょう。数学は分かっているてもできないことがあります。できるかできないかは、やってみなくてはわかりません。

余裕のある人や実力を高めたい人は別に問題集を買っておいて、授業で学習したのと同じ問題をしましょう。応用力がつきます。また、なるべく多くの問題を解きましょう。たくさんやれば実力はつきます。数学は復習中心ということは、ここに秘密があるのです。

理科 教科書は灯台 ノートに集中

自分のノートをきれいにしあげる人は理科が好きになります。先生が黒板に書くことはすべてノートに必ず書きましょう。

図や表や実験図などはなるべくたくさんノートに書くようにし、必ず手書きにすることで。マーカーを使うともっと楽しくなります。

理科が好きでない人に、理科が好きになる方法を教えましょう。その秘訣は、教科書以外の理科に関する本を多く読むことと自然現象に関心を持つことです。図書館にたくさんある本から何でも読んでください。読んだ本の内容を全て覚えなくてもよいです。

また、テレビの天気予報や台風の進路などに関心を持つことです。教科書には理科の大切なことだけがのっているのです。ですから、教科書は自然の中から大切なことを見つける灯台です。

英語 特効薬は クリカエース

最も大切なことは教科書を中心に徹底的に復習することです。基本になる文型をくり返し声に出して慣れることです。

英語が好き・得意になったりするための特効薬は「クリカエース」しかないのです。

英語教科書の英文を全部覚えたら、英語が得意な生徒になっています。

英単語暗記法

単語帳やカードで覚えるのがむずかしいという人のために、教科書の英文の中の単語を一つ一つ順序よく覚えるようにします。くり返し声を出して紙に書きながら覚えるとよいです。文の意味も一緒になって一石二鳥というものです。

作業と勉強

机には向かっているけれど、成績が伸びない人がいます。その一因として、それは「作業」をしているだけで「勉強」になっていないということがあります。

「作業」と「勉強」は違います。例えば、単語ノートを作ることは「作業」で、それを頭に入れることが「勉強」です。学校のワークをやっている、答えを見ながら機械的に埋めているだけでは「作業」をやっているだけです。問題を解きながら、自分のわかっていなかったところや理解があいまいなところを見つけ出し、クリアにすることが「勉強」です。

また「作業」には机と筆記用具が必要ですが、「勉強」はベッドやトイレなど、どこでもできます。むしろ暗記は、机以外の場所で、スキマ時間にでもやるほうがリラックスできて、よく頭に入ったりします。やっていることが「勉強」なのか「作業」なのか意識してみるといいかもしれません。

勉強にしても将来の仕事にしても、与えられたことをしているだけでは、それは作業にしか過ぎないと思います。勉強のやり方や任された仕事に対して自分の考えや思いを加味することが本来の勉強であり仕事であると思います。

自分の行動に自信を持って、積極的に自分の意思や良いこだわりを勉強方法に盛り込んで、学校での諸活動に誠実に取り組んでいきましょう。



第50回運動会(6月26日)

